

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

支部長懇談会、支部長会議報告



2016年度後援会副会長
古家 一郎 (聖之/キャリアデザイン学部)

6月3日(金)17時より、ポアンナー・タワー26階「スカイホール」にて支部長懇談会が、翌日の6月4日(土)10時より同会場にて支部長会議が開催されました。支部長懇談会では、小林章後援会会長および桑野秀光校友会会長のあいさつに続き、本年からの新しい取り組みである「HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY)」について増田昌幸卒業生・後援会連携室課長が説明しました。これは後援会、校友会、職員などが一体となってスポーツ活動の応援をするという、一大プロジェクトです。

そして、2016年度に周年事業を実施する6支部(岩手県、福島、茨城県、郡山、佐賀・長崎県、岡山県)の各支部長などから事業の進捗状況の報告を受けました。さらに秋のキャンパス見学について、首都圏父母懇談会の日程などに合わせて、受け入れ可能日を回答し、支部長懇談会を終

えました。

また、支部長会議では、小林会長のあいさつに続き、廣瀬克哉常務理事のあいさつ後、秋山太史総務から支部活動についての報告、志田成也事務局長から2016年度新入生父母の集いの開催状況の報告がありました。



続いて中村恵吾副会長から2015年度事業報告、2016年度事業計画(案)について、柳田明彦副会長から2015年度決算報告、2016年度予算(案)についての説明がありました。

その後、質疑応答があり、さらに、弔慰金や見舞金の見直しに関して小林会長より説明があり、了承されました。支部長懇談会および支部長会議で提案された内容については、今後の後援会活動に生かしていきます。

総会報告



2016年度後援会顧問
中村 恵吾

2016年度法政大学後援会総会は、6月4日(土)に市ヶ谷キャンパス薩埵ホールにて開催されました。当日はご来賓として桑野秀光校友会会長、山内朗弘後援会クラブ会長にご臨席いただき、また全国36支部より支部長および支部役員の皆さま、さらに大勢の会員、役員の皆さまにご出席いただきました。

小林章後援会会長の開会あいさつ、ご来賓の皆さまのあいさつに続き、議事に入りました。2016年度の事業計画については「大学の進化に呼応した活動内容」であり、「スーパードロップル大学事業への重点支援」「HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) 活動支援」「後援会設立70周年記念事業の企画・準備」などの新し

い施策の説明に、出席者一同、耳を傾けていました。

前年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画、予算、新役員選出について審議を経て、全ての議案は可決・承認されました。

そしてクライマックスは恒例の「禪(たすき)の引き継ぎ式」です。法政大学後援会の69年の伝統の禪が、2015年度の任期を終えた小林会長より、2016年度から新しく着任する祖父江一仁会長に引き継がれると、ホール内からは大きな拍手と喝采がわき起こりました。

法政大学後援会は、伝統と改革を胸に、新しい1年に向かってスタートしました。引き続き、会員の皆さまのご理解とご支援を、どうぞよろしく願います。

2016年度 後援会役員

会長	祖父江一仁	副会長	秋山太史	古家 一郎	森田 恵子
総務	平山智子	今泉 拓	中和 夫	中 和 夫	永田 芳 絵
松野千栄子	榊原 蔵	志田 ひろみ			松岡 孝 幸
常任幹事					
1年	赤木 修	高木 正裕	千葉 千代子	永野 恵美	仲山 千 秋
2年	馬場 富親	亀井 秀一	小島 克朗	小林 理恵	小松 剛
3年	神谷 栄	坂元 真理子	樽石 賢二	坂内 ひろみ	藤田 千 明
4年	佐藤 利美	山田 陽美			向井 知子
幹事					
1年	新井 雅子	萩原 尚美	山田 裕	伊藤 典子	魚谷 真理子
2年	萩原 尚美	山田 裕	伊藤 典子	篠山 恵	筒井 さゆり
3年	青柳 彩子	坂井 亨子	本多 邦恵	石塚 知子	石橋 久美子
4年	坂井 亨子	本多 邦恵	石塚 知子	高島 尚子	高野 克浩
1年	高島 尚子	服部 正則	山口 秀一	佐久間 貴子	鈴木 聖子
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
幹事					
1年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
2年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
3年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	
4年	高野 克浩	廣瀬 肇	渡辺 康太	鈴木 聖子	

2016年度 主な事業

2016年度(2016年4月～2017年3月)の主な事業は以下のとおりです。

事業項目	主な事業
1.父母懇談会	支部 ・支部総会・父母懇談会を36支部で開催[7月9日(土)～8月28日(日)]
	首都圏 ・東京、神奈川、千葉、埼玉の父母を対象に3キャンパスで開催 ・市ヶ谷キャンパス[10月9日(日)] ・多摩キャンパス[10月15日(土)] ・小金井キャンパス[10月16日(日)]
2.新入生父母の集い	支部 ・各支部で実施[5月～7月]
	首都圏 ・大学主催による「新入生父母説明会」への協力
3.支部における諸活動	・キャンパス見学(スポーツ応援)の実施 ・支部による学生課外活動の支援 ・支部活動の活性化に向けた議論 ・校友会との連携強化 ・支部長会議への参加
4.学生・大学への助成	・自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、 広報誌「法政」、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動手帳作成、その他の助成を実施 ・大学の歴史を体系化する取り組みへの支援
5.広報活動	・後援会だより、後援会ウェブサイトの活用 ・[会員のための大学ガイドブック]の改善 ・スポーツや文化活動の情報発信
6.大学、校友会との連携強化	・後援会運営委員と総長・学内理事、副学長・学部長・常任参与・参与、校友会との懇談会の実施 ・校友会との共同企画を実施
7.学生(課外)活動支援	・東京六大学野球、ラグビー、アメリカンフットボール、東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)などの応援 ・文化系学生の各種発表会の支援
8.組織の充実	・新入生保護者への後援会活動の情報発信 ・支部役員と本部役員との交流 ・本部3キャンパス役員との交流 ・会員であることの意識向上についての取り組み
9.後援会設立70周年に向けた準備	・2016年度準備委員会の立ち上げ
10.その他の具現化	・対外組織との連携 ・一部学生が抱える発達障がいに関する啓発

2016年度 収支予算書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

【収入の部】

(単位:円)

科目(款)	2016年度予算額
1.一般収入	243,062,000
2.雑収入	1,573,000
3.積立金・引当資産からの繰入	34,450,000
4.預り金収入	0
当年度収入合計(A)	279,085,000
前年度繰越金	24,856,000
収入合計(B)	303,941,000

【支出の部】

(単位:円)

科目(款)	2016年度予算額
1.自然災害等被災学生のための学生支援費	20,000,000
2.学生支援費	102,655,000
3.会員情報費	30,127,000
4.会員行事費	42,946,000
5.役員活動費	9,665,000
6.企画運営費	25,086,000
7.人件費	11,442,000
8.学生支援積立金	30,000,000
9.後援会積立金	0
10.引当資産	1,000,000
11.未払金支払	52,000
12.前払金	0
13.予備費	5,000,000
14.期末未払金	0
15.前期末前払金支払	△52,000
16.預り金支払	3,000
当年度支出合計(C)	277,924,000
当年度収支差額(A)-(C)	1,161,000
次年度繰越金(B)-(C)	26,017,000
支出合計(D)	303,941,000

■ 後援会ウェブサイトのご案内

<http://www.hosei-koenkai.org/>

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジ色のインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。ぜひ一度ご覧になってみてください。



■ 「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。東京六大学野球、ラグビーや東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げていきましょう。配信をご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録するメールアドレスをお送りください。

koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp

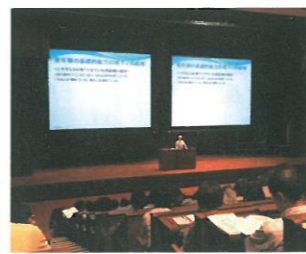


首都圏新入生父母説明会報告



2016年度後援会総務
永田芳絵(清香/文学部)

6月12日(日)13時より市ヶ谷キャンパス薩埵ホールにて、2016年度「首都圏新入生父母説明会」が大学主催で行われ、新入生の多くの保護者の方々が参加されました。まず廣瀬克哉常務理事から、秋から富士見ゲートでの授業も開始され、新たな大学に吹く風にも触れたごあいさつをいただきました。



本年度は、第一部が大学院イノベーション・マネジメント研究科の藤村博之教授による「大学の学びが働く力を高める」と題した講演会、第二部は「卒業生が振り返る『法政大学』」をテーマとしたパネルディスカッション、そして第三部は海外留学制度の概要の説明という、三部構成で行われました。

第一部の藤村教授は「大学での学びが将来どのような役に立つのか」という多くの人が持つ疑問に対し、詳細な資料を用意し、事例を交えて

分かりやすく説明していただきました。特に「将来花開くために大学があり、待っているはいけない、自ら動き学ぶ姿勢が大切」という言葉に感銘を受けました。後援会のウェブサイトには詳しい資料を掲載しているので、ぜひご覧になってください。

次にパネルディスカッションでは、小須田博司卒業生・後援会連携室部長を進行役に、法政大学の卒業生である増田昌幸卒業生・後援会連携室課長と、同じく法政大学出身の大橋重子さんの活発な意見交換がありました。母校と後輩に対するお二人の熱い思いが伝わってきました。

続いて後援会の中和夫総務より、後援会活動、スポーツ応援参加へのご協力をお願いするあいさつを行いました。最後に海外留学制度の概要の説明を行い、閉会となりました。



新入生父母の集い開催報告



東海支部支部長 佐藤充宏(浩敏/デザイン工学部)

6月12日(日)名鉄グランドホテルにて、東海支部の「新入生父母の集い」を開催し、48世帯59人の会員の皆さまに参加していただきました。まず、小金井事務部学務課課長の伊藤賢治氏による「大学生活について」の講演に続き、後援会東海支部からの案内、支部企画で東海地区出身の学生たちの生活の様子などを紹介。その後、昼食を取りながら情報交換会が行われました。

参加した方々からは、「和やかな雰囲気の情報交換できて、とても良かった」「キャンパスの映像、学生のインタビューがあり、とても良かった」「親元を離れてちょうど3カ月、良いタイミングの内容でとてもありがたかった」「温かい感じの会の進行、司会などがとても良かった」「大変参考になり、他の保護者の方、先輩方と情報交換できて良かった」「大学での生活、診療所の紹介など、知らないことが知れて良かった」などの感想をいただきました。

課題である「会員の参加率向上」は、抜本的な解決策にまでは至らな

いものの、細かな工夫を積み重ねていきます。昨今の社会の様子から、それまで継続していた出席依頼の電話勧誘を、昨年からはやめました。参加率が下がることが予想されたので、本年度は郵送のご案内の開封率を上げる工夫をしました。受け取った会員の方が封筒を開封する前に読んでいただけるように、案内の封筒に、会でのようなことが行われるのか、概要を記載し、「参加してください」という気持ちで伝える一文が目に入る案内にしました。返信率と出席率が増えたことで手応えを感じています。

今後も、会員の方々により理解していただくため、細やかな努力を続けていければと思います。

